

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 22

平成30年2月27日

東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題	新規就農者、連続して子牛を出荷～規模拡大し、経営計画を達成～
-----	--------------------------------

(ダイジェスト)

石川県からIターンして、宍道町で和牛繁殖経営を開始した新規就農者が、自身2及び3頭目の去勢子牛を1月2月連続して出荷されました。今年度は自家生産した雌子牛と、市場導入した4頭の雌子牛計5頭増頭し、昨年までの7頭と合わせて繁殖用雌牛は12頭となりました。この結果、来年度の目標繁殖牛頭数を前倒しで達成できました。

平成27年に石川県白山市からIターンして、松江市宍道町で和牛繁殖経営を始めた新規就農者の金田圭吾さん(38歳)が、平成30年1月2月の島根中央子牛市場へ連続して去勢子牛を出荷されました。

1月に出荷された子牛は249日齢279kg、2月に出荷された子牛は234日齢311kgと、いずれも良く発育していました。セリの結果、いずれも70万円台で市場平均価格には届かなかったものの、まずまずの価格で取引されました。

金田さんは今年度、自家保留1頭、市場から4頭導入したことで繁殖用雌牛は12頭になり、経営規模について経営計画を1年前倒しで達成できました。出荷頭数については、今年度は自家保留したこともあり、計画よりも少ない2頭でしたが、順次子牛が生まれており、平成30年度はさらに多くの子牛を出荷出来る見込みです。当普及部は、巡回指導を通じて、子牛生産についても計画を達成できるよう支援するとともに、子牛が高値で売れるような飼養管理指導を関係機関とともに実施していきたいと考えています。



2月出荷牛(体重311kg)